

元気広場事業を始めた理由



株式会社トスコ
株式会社元気広場
代表取締役 竹内 豪一

経歴
1980 慶應義塾大学卒業
1980 大協石油 (現コスモ石油) 入社
1984 米国ジョージア州立大学
修士課程修了
1987 竹内油業 (現トスコ) 入社
1998 トスコ代表取締役就任
2009 元気広場第一号施設開業

『地域のために、次の世代・世紀のために』

『石油業界の限界』

平成8年に始まった、石油業界の、第2次規制緩和は石油業界の構造を大きく変化させた。現にSS (ガソリンスタンド) の数は60,000件から、40,000件を割る勢いである。その間、原油価格は高値を維持し、ハイブリッド車や電気自動車への移行促進を余儀なくされている。他の業界と比較しても、需要の減退は際立っており、先行き明らかとは言えない。

『100年の挑戦』

トスコは1909年創業の清水港で一番古い石油販売会社である。2009年、ちょうど100年後に『元気広場』を創業したのは偶然の一致だろうか？

『石油業があったから、できた？』

しかし、創業するのは大変勇気がいるか？ うちで介護の仕事などできるのか？ 人は？ ノウハウは？ でも、一番ベンチャー企業にとって創業時に抱える課題は資金繰りだ。石油業をだてに100年やっていては訳ではない。銀行に対して説明を要するほど

の必要資金でもなく行えたのは、今までの信用があったからだ。先代たちに改めて感謝する。

『暖簾(のれん)に頼る社員はいらないから社名を変更』

創業90周年を機に社名を『竹内油業株式会社』から『株式会社トスコ』に変更。新しい事にチャレンジするため、暖簾に頼って成長できない社員の気持ちを一新するために変更した。

『新しい事にチャレンジすることはずばらしいこと』

1982年に米国ジョージア州立大学修士課程に入学1984年に卒業した。当時教わった事は、新しい事業へのスピリットを学ぶためのケースワーク。米国人や世界各地から集まった学生とチャレンジシップを学んだ。

『コスモ石油の新規事業企画担当に。学んだ事は失敗事例集』

米国留学はコスモ石油の海外留学制度を活用した。帰国後は新規事業開発部門へ。

一番若い私は、先輩の残り物の新規担当に。ほぼ間違いなく終わった状態の事業が回ってきた。そこで学んだのが、やっつけてはいけない事例集。大変貴重な勉強をした。

『志しをもって竹内油業にもどる』

新規事業を行なうにあたり、石油元売会社の体質の限界を感じ事業を起こしたい一心で帰郷。まずサンマルクに進出。十数年前、SSの就業者のほとんどは正社員だった。サンマルクは2名の正社員が80名のパートをマニュアルを駆使して運営。それが魅力だった。

『介護事業への取り組み、10年以上研究した』

一朝一夕に『元気広場』ができたわけではない。介護に関する研究会に参加、シルバークリニックから学んだ。城西神経内科医学部講師からは当初から様々なアドバイスをいただいた。そして、最後に『それならやる価値がある』という意見をいただいた。苦節10年である。



竹内油業株式会社 (1971年当時)

『社会貢献できる仕事があるから新規事業のキーワード』

元気広場事業は都道府県の認可事業であり、そう簡単に放棄できない。持続可能な利益は人材の確保や施設の整備のためにも必ず必要である。利益を確保しながら、社会貢献ができる事業が、『元気広場』である。要支援1,2に特化し、自立を目指し、良くなるための介護事業である。

『六方良し』

本人はもとより家族、国家予算、働き手、取引先、事業運営会社とすべての方にやりがいのある事業である。

『石油販売業を行っていたから、うまくいった？』

介護事業は当然心が無ければできない。しかし、その経営は心だけではむずかしい。良さを知っていたためにには営業努力や販売促進力が必要。その点、小売り卸業で培ったものは大切に活用した。早期単月黒字化、資金回収のビジネスモデルを確立した。

『利用者ではなく、お客様』

『元気広場』では、利用者さんとはお呼びしない。『お客様』。お客様を尊重し、明るく、誰とも楽しく話ができる癒しの雰囲気大切にしている。

『地域のために貢献したい』

地域に長く貢献してきた企業様とともに、『元気広場』事業を全国に展開し、日本の未来を明るくし、日本を元気にしたい。



元気広場施設内
スリングセラピー

『元気で長生き、寝たきり老人のいないまちづくり』運動に参画し、社会に貢献しよう！

何でもご質問ください。

竹内メールアドレス: tgoichi1121@feel.ocn.ne.jp

事業に関するお問い合わせ

株式会社元気広場 SC本部 (担当/ 山村・武藤)

〒420-0857 静岡県葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル14階
東京オフィス: 〒140-0014 東京都品川区大井1-6-3 アゴラ大井町3F

e-mail : genkihiroba-k@ai.tnc.ne.jp

TEL 054-205-5808

携帯 080-3482-5878

URL : <http://www.genkihiroba.jp>